2月のえんだより

～笑顔あふれる育ちのひろば～

令和4(2022)年1月31日
(社福)見真会 明光保育園

2月4日（金）は立春です。暦では春となりますが，まだまだ，寒い日が続きそうです。
今年は，新年早々から新型コロナウイルスの第6波に見舞われ，日々の生活や保育園の活動にも大きな制約が加えられています。
海田町内でも新たな感染が広がり，保護者や園児，職員への感染も心配されますが，国や県，町からの最新の正しい情報に基づいて，安心・安全な保育の確保と維持を目指します。
そうした中，子どもたちは，毎日毎日，新たな気付きやチャレンジの中で成長しています。
一人ひとりの成長や興味，挑戦に寄り添い，健康管理と感染防止に十分に配慮しながら，笑顔あふれる育ちを支援していきます。

これからは，空気の乾燥も加わり，風邪やインフルエンザ，ノロウィルスなどの感染も心配になります。ご家族の健康管理や室内の加湿，食品の衛生管理などの配慮をお願いします。

1月の行事は，6日（木）に「おめでとうの会」，12日（水）に「初詣」，20日（木）に「避難訓練」などを行いました。
おめでとうの会では，コマ回し，けん玉，かるた，凧揚げ，羽根つき，福笑いの伝統的な遊びを紹介した後，クラスごとに分かれて伝統的な文化に触れて，遊んで，親しむことができました。
初詣は，白，組，黄組が寒い中，白い息を吐きながら，笑顔で熊野神社に参拝し「今年も元気に過ごせますように」と「二礼二拍手一礼」をしてお願いしました。
避難訓練は，地震を想定して，身を守る行動をしっかりして，白，青組は避難準備，集合までを静かに落ち着いて行うことができました。

今年度も残り2か月となりました。就学，進級を控えて，これまで以上に1日1日を大切に，一つひとつの経験を積み重ねて，みんなで協力し支え合い，成し遂げる喜びを共感し，生きる力の基礎がしっかりと育むまれるよう支援していきます。

節分の集いについて

節分は，年4回，季節を分ける立春，立夏，立秋，立冬の前日を「節分」と言います。
豆まきは，中国から伝わった風習で，季節の変わり目には邪気（鬼、魔物）が生じると考えられて，その邪気を追い払い，無病息災を願う儀式と言われています。
豆＝魔目（まめ・鬼の目という意味），豆＝魔滅（まめ・魔物を滅するという意味）
園では，2月3日（木）に「節分の集い」で豆まきをして，自分の心の中にいる「泣き虫おに」「怒りんぼうおに」「意地悪おに」などを追い払って，たくさんの福を呼び入れ，1年の健康と安全を願います。鬼のお面も持ち帰ります。ご家庭でも豆まきをしてくださいね！

お手伝いはたのしいもの！！

ご家庭では，子どもにお手伝いをしてもらっていますか？
お手伝いは，子どもたちが家族や保育園の中で一人前として，役立っている，大切にされているということを実感できる機会です。張り切って「おしごと」をする姿。それを喜んで温かく見ている「おとなや友だちのまなざし」を感じることできて，楽しい経験となります。
お手伝いは，子どもにとって「楽しい」ことからスタートするのがコツです。
園でも当番をはじめ，年齢に応じて色々なお手伝いをお願いし，活躍してもらっています。

～お手伝いすることよって得られる5つの効果～

☆やり遂げることで自分に自信が持てる。
☆いろんなルールを知って責任感が育まれる。
☆家族や友だちとの間でコミュニケーションが活発になる。
☆いろんな動作を通じて手指が発達する。
☆気づきの中から創意，工夫することを覚える。

遊びを加えながらお手伝いしてもらいましょう。できたことを沢山ほめてもらって，楽しみながらお手伝いができれば習慣化しやすくなります。

～年齢別のお手伝いの例～

・1歳児：おもちゃの片付け，おむつを取りに行く。
・2歳児：洗濯物をしまう，スプーンや箸を並べる。
・3歳児：かき混ぜる，ちぎるといった簡単料理，洗濯物をたたむ。
・4歳児：玄関の靴をそろえる，卵を割るなど少し難しい料理に挑戦。
・5歳児：お風呂掃除，包丁で食材を切ることにチャレンジ。

お手伝いを通して，子どもの成功体験を支え，新たな取組みにつなげていきましょう！

玄関に看板を設けました。

2月の予定

お詫び：重点措置期間中は，三密のうち，園児の密集や密接をなるべく避けるため，保護者会支援の体操，絵画，茶道のひろばを休止します。

日	月	火	水	木	金	土
まん延防止等重点措置 ～2月20日(日曜日)		1 1日入学 (南小)	2	3 節分の集い (給食は，鯛のかば焼き)	4 立春	5
6 休日保育	7	8	9	10	11 建国記念の日 休日保育	12
13 休日保育	14	15	16	17	18 避難訓練	19
20 休日保育	21 身体測定週間	22 誕生日会	23 天皇誕生日 休日保育	24	25	26
27 休日保育	28					

2月園だより担当
保育士：石﨑，本岡 栄養士：佐々木 編集：事務長 白木
電話 (082) 823-0366 アドレス info@kenshin-meikou.jp

◎楽しく体を動かすことが大切です！

幼児期は，脳・神経機能の発達が著しく，運動機能が向上する時期です。この時期は，特定の運動をするのではなく，楽しく体を動かして遊ぶ中で，立つ，走る，跳ぶ，持つ，投げる等のいろいろな動きを経験することで，将来の運動機能の基礎が身に付きます。「幼児運動指針」（文部科学省）では，様々な遊びを中心に，毎日合計60分以上，楽しく体を動かすことが望ましいとしています。

子どもたちにとっての「運動」は，必ずしもスポーツとは限りません。楽しく遊ぶことに加えて，散歩やお手伝いをすることも，立派な運動です。近くの公園や広場等に行ったり，普段から階段を使ったり，買い物帰りに荷物を持って歩いたりして，からだを動かす機会を増やしてみてください。

節分は「鰯（いわし）」で魔除けと無病息災！

節分には「豆まき」や「恵方巻」，「鰯」を食べたり飾る習慣があります。

焼いた鰯に柊（ひいらぎ）の枝を刺したものを玄関に飾る「柊鰯」は，鰯を焼く煙と強い臭いで邪気を追い払い，とがった柊で鬼の目を刺す魔除けや厄払いの意味があります。

また，鰯には，カルシウムやＤＨＡ・ＥＡＰを豊富に含み栄養価が高く，無病息災の意味もあります。

園では，屋上で鰯を焼いて「柊鰯」を作り玄関に飾ります。

給食では「鰯のかば焼き」を提供します。

ご家庭でも栄養満点の「鰯」を食べて寒い冬を乗り越えましょう！

☆お困りごとにお答えします☆

Q：夜，子どもがなかなか寝付かないのですが，どうしたらいいでしょうか？（2歳児　保護者）

A：睡眠までルーティンを決めてはいかがでしょうか？

（例）布団に入って読み聞かせ→今日楽しかったことのお話→消灯しておやすみの抱っこ→就寝

１度決めたルーティンを根気強く続けると，子どもは，徐々に寝る心構えができます。ただし，体を激しく動かすあそびやスマホやテレビなどの使用は脳が興奮するので，ルーティンには入れないようにしてくださいね。

☆お悩み・相談事，大募集です！！

クラスの紹介

【ひよこ組　0歳児　11人】

節分に向けて鬼のお面を作りました。スタンプで鬼の髪の毛を自由に押して描きました。今まで指の力が弱くてスタンプが持てなかった園児も指の力が付いて持てるようになってきました。細かい顔のパーツも指先でつまんで，のりで貼り付けました。完成すると手を叩いたり，お話が上手になってきた園児は「できた」と言って喜んでいました。

最近，腕の力がつき，室内の棚にぶら下がろうとしたり，保育士と手をつなぐと，体によじ登ろうとするなど，全身を使った遊びを楽しむようになりました。屋上や室内で，鉄棒やマット，トンネルなどを使って，ぶらさがる・転がる・くぐるなど運動の幅が広がるよう支援していきます。

また，進級に向けては，少しずつオマルやトイレに慣れて，嫌がらずに座れるよう，優しい言葉をかけていきます。

【白組　5歳児　18人】

正月遊びをする中でけん玉やコマに興味を持ち，けん玉ではどうしたら玉がお皿に乗るのか，コマではひもの巻き方のコツや回し方を考え，挑戦する中で友だちと教え合いながら上手くなりたいと，繰り返して練習に励んでいます。

トランプなどのカードゲームでも友だちを誘い合いながらルールを確認して遊んだり，数を数えたりなど，新しいことに挑戦する姿や友だちと協力しながら遊んでいます。

また，文字には書き順があることを知り，一つひとつの字を知って読んで書けるだけでなく，美しく見えるように丁寧に書こうと練習を重ねています。

初めて張り子の鬼のお面作りに挑戦しています。2人1組で協力して張っていき，節分での披露を楽しみにしています。

共同製作に当たっては，興味をみんなで共有し，同じ目的に向かって調べたり，工夫したり，アイデアを出し合い，考えながら，友だちと一緒に作品を作り上げる楽しさや達成感が感じられるように支援していきます。

【赤組　1歳児　19人】

お正月は，福笑いや凧あげを楽しみました。福笑いは，眉，目，鼻，口をのりで貼って色々な顔を完成させました。凧は，シールで飾り付けました。のりの量の加減ができたり，シールを台紙から上手に剥がして貼ることができました。

進級に向けて，トイレで排泄できるよう練習したり，自分でズボンや紙パンツが履けるように支援をしています。

絵本にも興味を持って，座って真剣にみることができるようになりました。自分たちでも好きな絵本を選んで開き，絵を見て指をさしながら名前や色などを口に出せるようになったり，持ってきては一緒に読もうと求めてきます。

これからも絵本を通じた保育士や友だちと言葉でのやりとりを楽しめるように絵本の読み聞かせを充実していきます。

【黄組　3歳児　19人】

正月遊びで様々な伝承遊びを知り，コマやすごろく，カルタで遊ぶことが増えてきました。自分でコマが回せたことを喜び，友だちと面白さを共有したり，カルタ遊びを通して，楽しく平仮名に興味を持ってきているようです。

冬の制作として雪だるまを作ったり，節分に向けて鬼の面を作る中で，ハサミを上手く使えるようになり，自分で材料を上手に切ったり，絵の具やクレパスなども使いこなして，制作を楽しみながら個性あふれる作品に仕上がっています。

寒い日が続きますが，寒さに負けず，積極的に戸外に出て，思い切り身体を動かして，健康な体づくりを支援します。

また，子ども自身が，自分の思いを言葉で伝えることができるよう，一人ひとりの思いを最後までしっかり聞き，思いに寄り添って，共感したり，励ましたり仲立ちをしながら，自分の思いを相手に伝える力を育んでいきます。

【桃組　2歳児　18人】

クリスマス会でサンタさんから「メルちゃん」と「りこちゃん」をもらいました。最初は物珍しさもあり独り占めしたり，友だちと取り合いになっていました。「順番ね」「次は○○ちゃんよ」と声掛けを重ねるうちに「譲り合いの心」が育まれたようで貸し借りが上手にできています。

最近は，男児は，戦いごっこ，女児は，ままごとと分かれて遊ぶことも増えてきましたが，メルちゃんやりこちゃんで遊ぶときには一緒に仲良く，髪の毛をとく，靴下をはかせる，ミルクを飲ませる，寝かせるなどお世話をしています。

お手伝いをすることに喜びや楽しさを感じているようで，「先生，これしよっか」「これやりたい」などと保育士に伝えています。子どもの「できた！」を増やし，喜びや楽しさを共感して，次の意欲へつながるよう支援していきます。

【青組　4歳児　19人】

作品展に向けて共同制作をはじめています。今までやってきた技法，様々な素材・廃材を使って，一人ひとりの作品ではなく，みんなで協力して一つの作品を作ろうと頑張っています。作業の中では，「ここはこうよ！」「こうすればもっとかわいいよね？」などとアイデアを出しながら完成させることと，みんなに見てもらうことを楽しみにしています。

みんなが生活の流れを理解して，自ら考え，進んで行動できることについて話し合いました。それに向けては，自分の身だしなみや，持ち物の管理などの生活習慣を整えて，みんなが気持ちよく生活できることが大切だと気付きました。

進級に向けては一人ひとり活動のなかで目標を定め，それに向かって取り組む楽しさ，やりがいを感じ達成することを通して自信が持てるよう，励ましの言葉掛けをしていきます。

また，年長児へのあこがれを持ちながら異年齢児との関わりを通して，思いやりを育み，友情を深めていきます。